

三陸新報

三陸新報社
〒988-0141
気仙沼市松崎柳沢228-100
電話 0226 (22) 6700(代)
FAX 0226 (23) 6100
URL http://www.sanrikushimpo.co.jp/
e-mail news@sanrikushimpo.co.jp
© 三陸新報社 2011年

みんなのでが んばろう

地震後に区域広がる

気仙沼市「このままでは住めない」 南町周辺

早く方向性を

冠水対策



冠水した南町周辺 (24日午前6時ごろ)

東北関東大震災発生以降、気仙沼市内の沿岸部では高潮がたびたび発生し、住民らを悩ませている。地震によって地盤沈下したとみられ、冠水地帯は広がった模様。一年で最も潮位が高くなる大潮に重なったこともあり、これまでも増してひどい状況にある。以前の場所には住めないといった声も聞かれ、対策が急がれる。

東北関東大震災

高潮は震災前からエースポト周辺や魚市場前、大島浦の浜などで確認されており、市が国、県に対策を求めるとしていた。

階上、本吉地区も復旧へ 東北 仮鉄塔で送電

東北電力気仙沼営業所によると、二十三日までに約四万二千戸のうち三四%の一万四千三百五十二戸で電気が復旧した。岩井崎と津谷の変電所にも仮鉄塔で送電ルートを確認し、階上、大谷、津谷、小泉

方面へも通電のめどがつついたが、電線や電柱の被災状況によっては復旧が遅れる地域もあるという。松岩変電所の残るルートでも復旧が進められているが、約一万二千戸に配電している鹿折変電所は冠水し、八千七百四十戸をカバーする志津川変電所は壊滅しており、復旧に長期を要する見込み。

高潮は、特に湾奥で冠水地帯が以前より広がった模様だ。七十七銀行気仙沼支店付近の住民によると、マンホールから海水があふ

れ出してきた、道路などに十割ほど水がたまり、水かさは一メートル以上と増えている。住民は少なくない。エースポト前の市

道は、海水が車両の通行に支障をきたすようになつたため、県が二十三日までに延長二百メートルにわたって、高さ五メートルほどの砂利などを敷いて対応した。大潮が過ぎれば落ち着くのではとの見方もあるが、今後の都市づくりには大きな不安を残す。

市は、海水が車両の通行に支障をきたすようになつたため、県が二十三日までに延長二百メートルにわたって、高さ五メートルほどの砂利などを敷いて対応した。大潮が過ぎれば落ち着くのではとの見方もあるが、今後の都市づくりには大きな不安を残す。

市は、海水が車両の通行に支障をきたすようになつたため、県が二十三日までに延長二百メートルにわたって、高さ五メートルほどの砂利などを敷いて対応した。大潮が過ぎれば落ち着くのではとの見方もあるが、今後の都市づくりには大きな不安を残す。

市は、海水が車両の通行に支障をきたすようになつたため、県が二十三日までに延長二百メートルにわたって、高さ五メートルほどの砂利などを敷いて対応した。大潮が過ぎれば落ち着くのではとの見方もあるが、今後の都市づくりには大きな不安を残す。

市は、海水が車両の通行に支障をきたすようになつたため、県が二十三日までに延長二百メートルにわたって、高さ五メートルほどの砂利などを敷いて対応した。大潮が過ぎれば落ち着くのではとの見方もあるが、今後の都市づくりには大きな不安を残す。

市は、海水が車両の通行に支障をきたすようになつたため、県が二十三日までに延長二百メートルにわたって、高さ五メートルほどの砂利などを敷いて対応した。大潮が過ぎれば落ち着くのではとの見方もあるが、今後の都市づくりには大きな不安を残す。

再開目標は6月 魚市場 一体で難局打開

気仙沼市の水産業者の復興を目指す「気仙沼水産業者対策本部」が二十四日、発足した。気仙沼魚市場での早期水揚げ再開、関係業者の雇用安定などが当面の課題となる。水揚げの再開時期については、三陸沖でのカツオ漁が本格化する六月を目標に、各部門が情報収集や調整に取り組んでいる。

本部立ち上げの席上、カツオの水揚げで縁のある宮崎県日南市の外浦漁協船主組の河野賢二組合長が訪れ、菅原茂市長に

設備の情報も早急に収集する。会合では復興拠点となる魚市場のライフライン復旧を強く要望する声が多かった。

宮崎で口蹄疫問題が発生した際、義援金を贈っている。河野組合長は「カツオの水揚げは気仙沼でなくてはならない。昨年の恩返しも含めて、一日も早く復興してほしい」とエールを送った。

義援金四百六十五万円を届けた。同漁協と栄松漁協に所属するカツオ一本釣り船主ら有志から集めた。

気仙沼市では昨年、

特別な支援の用意を 事業主などに説明会

雇用調整助成金や失業給付特例

震災で水産業を中心とした地域経済に大打撃を受け、雇用への不安が高まる中、宮城労働局とハローワーク気仙沼は二十四日、気仙沼魚市場で休業中の雇用調整助成金、失業給付の特例についての説明会を開いた。水産関連の経営者ら約百人が出席した。

雇用調整助成金は、災害などで事業活動の規模縮小を余儀なくされた場合、休業する従業員に雇用主は休業手当(賃金の六割以上)を支払うが、その八割を国が助成金で補てんする。一人当たり累計で三百日間適用できるといふ。

一方、雇用保険の失業給付も、特例措置で実際に離職せず、再雇用を見込んで休業する人でも受給できる。雇用保険に六カ月以上加入していることが条件で、加入期間や年齢によつて九十、三百六十日間、賃金の四五、八〇%の基本手当が受けられる。

説明によると、雇用

調整助成金は事業再開に向けて人材を確保できる一方、手当支給から助成金交付まで一カ月ほどかかるため、ある程度の運営資金を確保する必要がある。失業給付は、給付期間が六十日間延長できる可能性があるほか、再就職の一時金が給付されるメリットがあるといふ。

被災2万6千人 気仙沼市が試算

市の発表によると、二十三日午後五時現在の死者は五百二十二人、新築小など七つの安置所に収容されている。市内百力所の避難所では、一万五千七十二人が避難所生活を続けている。

被害概要は、被災したのは約九千五百世帯、約二万六千人で、市全体の約三分の一。ライフラインの復旧に長期間を要する地域があり、二次避難も想定されることから、市は水道や電気の復旧見通しをまとめて市民に示す準備を進めている。

秀な人材が必要。前例のない大災害なので、特別な支援策を用意してもらわないと太刀打ちできない」と話していた。

すでに廃業を決めた事業所もあり、市役所一階に開設されているハローワーク相談所には、多くの人が相談に訪れている。

市は、海水が車両の通行に支障をきたすようになつたため、県が二十三日までに延長二百メートルにわたって、高さ五メートルほどの砂利などを敷いて対応した。大潮が過ぎれば落ち着くのではとの見方もあるが、今後の都市づくりには大きな不安を残す。

市は、海水が車両の通行に支障をきたすようになつたため、県が二十三日までに延長二百メートルにわたって、高さ五メートルほどの砂利などを敷いて対応した。大潮が過ぎれば落ち着くのではとの見方もあるが、今後の都市づくりには大きな不安を残す。

緊急対応窓口のお知らせ

この度の「平成23年東北地方太平洋沖地震」により被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。仙北信用組合気仙沼支店も震災に遭い店舗並びにATMが損壊し、通常どおりの営業ができない状況となっており、地域のお客様には多大なご迷惑をおかけしているところであり、つきましては、緊急対応の照会窓口電話番号を設置いたしましたのでお問合わせ下さい。

■照会窓口電話
①電話番号(フリーダイヤル)
0120-32-3014
②電話番号(中田支店)
0220-35-2100

■照会窓口のお電話番号受付時間
①②共に午前9時～午後5時
仙北信用組合

出陣した水産加工関係者は「事業再開まで何年かかるか分からないが、地域復興には優

大変ご迷惑をお掛けいたしております。

TOYOTA L&F トヨタL&F宮城株式会社
ロジスティクス & フォークリフト

謹んで地震・津波による災害のお見舞いを申し上げます。1日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

弊社、トヨタL&F宮城も津波により石巻営業所及び気仙沼営業所で被害を受けましたので、石巻及び気仙沼地区のお客様からのお問合せ・ご相談につきましては、下記にて承っております。

TEL 022-351-5621 FAX 022-351-5622
受付時間 8:30～17:00 (トヨタL&F宮城本社)

大変ご迷惑をお掛けいたしております。

TOYOTA L&F トヨタL&F宮城株式会社
ロジスティクス & フォークリフト

TOYOTA L&F トヨタL&F宮城株式会社
ロジスティクス & フォークリフト

TOYOTA L&F トヨタL&F宮城株式会社
ロジスティクス & フォークリフト

「お風呂に入りたい」

相次ぐでも恩恵はまだ一部 入浴支援



入浴サービスを受けようと、バスに乗車 (松岩公民館)

気仙沼市の松岩地区、た入浴サービスが被災と本吉地区で、高齢者や子供たちを対象にし、者は大喜びだった。震災以来、電気や水道などのライフラインが寸断され、いまだに風呂に入れずにいる市民が多く、一日も早い復旧を望む声は強まるばかりだ。

電力や水の供給区域は日に日に広がりつつあるものの、一部に限られていたため、なかなか風呂に入れない被災者が多い。自衛隊などの入浴サービスはあるが、一部の人たちしかその恩恵を受けられない。ある被災者は「とにかくのんびり湯船につかって疲れを癒したい」と唇をかむ。

そんな中、松岩公民館での避難所生活を余儀なくされている人たちが二十四日、岩手県内の「げいび観光センター」と「三島温泉」の好意により、入浴サービスを受けた。お年寄りを中心に五十六人がサービスを受けた。お年寄りの「げいび観光センター」と「三島温泉」までバスで移動し、入浴。ゆったり気分が癒された。

避難者も祝福

力強く歩むこと誓う

浦島小で晴れの卒業式



最後の校歌斉唱。涙が止まらない

甚大な津波被害を受けた気仙沼市浦島地区。地区住民の避難場所になっている市立浦島小学校(齋藤校長)で二十四日、卒業式が行われ、保護者や避難者らが見守る中、卒業生九人が震災に負けず力強く歩んでいくことを誓った。

同校体育館では地区住民三十人ほどが避難生活を送っている。卒業式は布団など生活用品を片付け、スペースを確保して行われた。約六十人の温かい拍手を受けながら卒業生が入場。齋藤校長は式辞で「今回の災害で人間一人一人は弱いが、一つにまとまったときに素晴らしい力を発揮することを実感した。自分を見失うことなく、感謝の気持ちを持って頑張ると」とエールを送った。

卒業生は両親に卒業証書とガーベラの花を手渡し、「これまででありがとうございます」と感謝の言葉を述べた。

童、保護者、地区住民による校歌が館内に響き渡った。体育館で避難生活を送っている卒業生の尾形能希君は「みんな卒業式の準備をしてくれて嬉しい。中学校ではしっかり勉強したい、避難者の尾形泰弘さん(五七)市内小々汐は「立派に成長した子供たちの姿に涙しか出てこない。(今回の災害を)後世に伝える役目を担ってほしい」と話していた。

「元氣もらいました」

陸自大村駐屯地 本吉で慰問演奏



大村駐屯地普通科連帯音楽部の演奏会

満喫し、午後四時前に公民館に到着した。また、藤沢町館方森高原温泉ホテルが二十三日から、本吉地域で避難所生活を送っている高齢者や子供たちに入浴支援を行っている。きょう二十五日に大谷両地区の避難所生活を送っている一部で二百二十四人が予定されている。

陸上自衛隊長崎県大村駐屯地第十六普通科連隊(伊崎義彦連隊長)が二十四日、気仙沼市本吉町寺沢の仙翁寺本堂で行われ、避難者を勇気づけた。

市本吉総合支所の要望により、災害派遣活動の合同を縫って演奏

会を開いたもので、同連隊音楽部(吉田繁守部長)のメンバー十一人が迫力あるサウンドを披露した。

いきものがかりの「ありがとう」を皮切りに、「青空のハナミズキ」など六曲を演奏。コクプロの「流星」、グリーンの「キセキ」では隊員二人の歌が加わり、会場を盛り上げた。最後にメンバー全員が「日本中、世界の中の人たちが皆さんを応援しています。頑張ってください」と呼び掛けた。

震災で家(民宿)と水産加工場を失った同町三島の三浦八重子さん(五五)は「歌を聴いて涙が出そうになりました。元気をもらいました。ありがとうございます」と目を潤ませながら話した。二十五日午後一時三十分から同町大森の清涼院でも演奏されたほか、二十三日にも飲料水、けんちん汁、消毒液、マスクなど、区の備蓄品が大量に届けられた。区立下目黒小学校六年生が集めたカイロ二百八十四個も一緒に搬送された。

各地から次々と食料や水が届く中、落語「目黒のサンマ」が縁で交流を続け、気仙沼市と災害時相互応援協定を結んでいる東京目黒区から救済物資が届いている。

十七日には目黒区医師会から医薬品が搬送された。

亡くなられた方々

(再掲載 (敬称略))

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 山本健 川口町 | 菅野晃 田中前 | 根 齋藤新一 弁天町 |
| 佐々木正人 松崎浦田 | 小山俊男 南郷 | 櫻田昭子 幸町 |
| 石川博也 笹が陣 | 小松弘 内の脇 | 小松歌子 内の脇 |
| 伊藤千代子 唐桑町港 | 吉野みや子 太田 | 櫻田安夫 内の脇 |
| 穀田啓一 唐桑町港 | 藤村操 田中前 | 秋山ふじ子 岩月宝ヶ |
| 佐藤菊之助 内の脇 | 菊地宮子 東八幡前 | 沢 小松正 内の脇 |
| 三浦ふくえ 仲町 | 小野ゆみ 唐桑町荒 | 小山哲志 九条 |
| 伊藤清美 唐桑町港 | 小野みよ子 唐桑町荒 | 小野寺教夫 大浦 |
| 和泉治子 唐桑町港 | 千葉みよ子 唐桑町荒 | 小野寺幸子 浪板 |
| 和泉千二男 唐桑町港 | 菅野和子 南郷 | 菅野公 常楽 |
| 村上昭子 唐桑町台の | 菅野和子 南郷 | 佐々木栄子 リバーサ |
| 下 村上幸子 笹が陣 | 菅野和子 南郷 | 伊豆春圃 |
| 千葉オトヨ 唐桑町荒 | 鈴木仙裕 松崎五駄鱈 | 齋藤新一 弁天町 |
| 谷前 中 | 遠藤敏子 松崎中瀬 | 櫻田昭子 幸町 |
| 星直美 唐桑町釜石下 | 村上幸子 笹が陣 | 小松歌子 内の脇 |
| 星喜八郎 唐桑町港 | 吉田まさ子 唐桑町北 | 櫻田安夫 内の脇 |
| 星野勝大 内の脇 | 内海ふゆみ 川口町 | 秋山ふじ子 岩月宝ヶ |
| 菊田民子 赤石石兜 | 佐藤信子 長磯七半沢 | 沢 小松正 内の脇 |
| 菊田まさ子 港 | 小松てい子 浪板 | 小山哲志 九条 |
| 岩淵忠三 松崎片浜 | 山居哲雄 浪板 | 小野寺教夫 大浦 |
| 相場勝子 唐桑町荒谷 | 林みつ子 潮見町 | 鈴木まさみ 最知森合 |
| | 横山志け子 新浜町 | 小野寺まさみ 松崎尾 |
| | 畠山小雪 唐桑町西舞 | |

妻菅原 みつ子儀
三月十一日 午後零時三分死去
ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでお知らせ申し
上げます。
尚、火葬、通夜、葬儀は相済みせました。
気仙沼市長岩間二七
(屋号) 赤菅下

喪主 菅原基持
菅原正志
菅原香
菅原大樹
菅原一樹
菅原一樹
菅原一樹
菅原一樹
菅原一樹
菅原一樹